

市長のあまねくつぶやき

〓十年今昔〓 市制施行10周年を迎えて

明けましておめでとうございます。

今年も申年、「申」という漢字は、「雷」の原字で「稲妻（いなずま）」を表した文字だそうです。また、稲妻はあちらこちらに走ることから「申」を「のびる」という意味で使うようになりました。「申」に人偏（にんべん）をつけると「伸びる」になります。

さて、昨年は市制施行10周年、市内ではさまざまな記念行事やイベントが行われ、なかでも、七色帆引き船の運航や「なめがたファーマーズヴィレッジ」のオープン、行方市版事業レビューなどが実施されました。また、無作為に3千名の市民アンケートを行い、多数の回答をいただきました。この市民アンケート結果をもとに、行方市版総合戦略と第二次総合計画の策定を進めています。策定にあたっては、市民で構成する「市民100人委員会」、有識者等で構成する「なめがた未来のまちづくり協議会」、行方市議会で構成する「地方創生推進特別委員会」、行方市の庁内で組織する「まち・ひと・しごと創生本部」と、市民と議会、行政が一体となって計画作りをしています。

私が昨年の当初に掲げた漢字は「本」という字でした。これからの行方市を創り上げるためにさまざまな会議や行事を実施し、行方市の基「本」となる年になるようにとの思いをこめて選びました。

今年も地方創生が本格的にスタートし、総合戦略と総合計画を実行する年です。多くの市民が関わり創り上げたこの計画を着実に実施することが重要です。そのためには市民の協力が必須であり、自分たちの地域や行方市で行われていることを自分事として捉えていただくことも大切です。

これらの意味をこめて、私が掲げる今年の漢字一文字は「礎」にしました。行方市の基「礎」となる計画の初年度を迎え、市民協働のもと、住みやすいまちづくりを着実に実践し、行方の子供たちが、素晴らしいものが「ここにはある」と胸を張って自慢できるような市にしていきたいと思えます。本年もどうぞよろしく願っています。

行方市長 鈴木周也



市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せください。

はい、こちら行方市消費生活センター！

マイナンバー制度に便乗した不審な電話等にご注意ください！

マイナンバーの通知が開始された10月以降、マイナンバー制度に便乗した不審な電話等に関する相談が増加しています。

相談内容をみると、マイナンバー制度に便乗して口座番号を聞き出そうとしたり、個人情報の削除を持ち掛けたりするなどの不審な電話に関するもののほか、「あなたのマイナンバーが漏えいしている」などとして、別のサイトへのアクセスを誘導する不審なメールに関するものも寄せられています。

マイナンバーの関連であることを語ったメールが送られてきても、自分の勤務先など送付者が明らかなのを除き、安易に開封したりせず、記載されているサイトのアドレスにも安易にアクセスしたり、相手に連絡を取ったりしないでください。

また、マイナンバーの通知や利用手続き等で、国や自治体、その他公的機関の職員が家族構成、資産や年金・保険の状況、口座番号などを電話などで聞くことはありません。そのほか、行政機関を名乗る者が自宅を訪問し、電話をかけたりすることはありません。マイナンバー制度に便乗した不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断ってください。

マイナンバーカード発行やセキュリティ対策に関して、代金を請求されることはなく、カードの取得は無料となるため、万が一金銭を要求されても、決して支払わないようにしてください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター Tel 0291-34-6446

